

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	児童館・児童センター(63館)
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3 指定期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 1,399,015人 (前年度比 115.6%) 令和5年度 1,210,198人 令和4年度 1,088,020人
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 2,244,380千円 (2,112,110千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	31/31
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	19/19

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
(児童健全育成事業)子どもたちが話し合いながら意見を形にする機会を大切にしました。キッズスタッフとして活躍する姿を見ることで、下級生が憧れの気持ちを抱き、意欲や自主性が高まりました。また、乳幼児親子や保育所等の子どもたちに向けて小学生が遊びを企画・実施したことで、小学生の自己有用感、自己肯定感が育まれるとともに、お兄さんお姉さんの活躍を見て未来の姿を思い描く機会にもなりました。(子育て家庭支援事業)子育て支援クラブや区家庭健康課等の関係機関と連携しながら、保護者同士が悩みや喜びを共有できる機会や、子育てしやすいコミュニティづくりに向けて近隣児童館合同の行事を実施しました。行事をきっかけに、保護者同士が時間を合わせて児童館に遊びに来る様子も見られました。(地域交流推進事業)体験行事や館まつり等でたくさんの方々の協力いただきました。ハロウィンパレードで地域のお店をまわったり、福祉施設に訪問して子どもたちが考えて練習を重ねたダンスを披露したり等、自分たちの住む地域を知り、つながりを築くきっかけになりました。(放課後児童健全育成事業)子どもたちが相手の意見を尊重しながら意見を出し合い、遊びや生活をより良くしていく力を身につけられる機会をつくりました。保護者説明会では、いつもの遊びを親子で楽しむ時間をつくり、普段の児童クラブの様子を分かりやすくお伝えしました。(その他)児童館合同行事「第11回児童館フェスタ～遊びでつながる・ひろがる親子の輪!」では、親子で一緒に一生懸命遊び、楽しさや喜びを共有する姿が見られました。また、運動遊びの展開のために児童厚生員の企画による職員研修を実施したほか、「第7回児童館フォーラムin仙台～遊びが子どもを育てる～」では、日常の遊びの重要性について講師から学び、運動遊びについての理解を深めながら、県内外の参加者全員で考える機会となりました

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
施設の管理運営については、指定管理者が策定した全館共通の各種マニュアル等に基づき適切に行われ、いずれの館も必要な水準を満たしている。施設や設備の維持管理も日々行われており、利用者が安全安心に過ごせる環境を整えている。また、各種研修の実施により、職員の研鑽を重ねている他、利用者アンケートの実施や運営委員会等で得た意見を活かして児童館運営の質の向上に努めている。いずれの館においても新規利用者やリピーターの増加につながる取り組みや安定したサービスを提供し、利用者の満足度向上に向けて新たな行事等の検討や課題点の改善等に取り組んでおり、それぞれの地域特性やこどもの興味関心を捉えたプログラムの提供や行事の展開等、更なる児童館事業の充実に努めている。 児童健全育成事業においては、地域人材や周辺環境などの資源を有効に活用した各児童館の特色を出しながら事業を展開している。運動遊び、自然体験、社会体験等の体験活動の他、近隣の施設との連携事業等を通して地域交流や世代間交流を図り、様々な体験を通して子ども達の豊かな人間性や自ら学び考える力を育みながら、地域の子ども達の居心地の良い居場所作りに取り組んでいる。 子育て家庭支援事業においては、定例行事や企画行事等の開催や自由来館利用を通じて、乳幼児親子に豊かな遊びの場を提供するとともに、保護者同士の交流の場となっている。また地域の関係団体や関係機関等と連携を図りながら子育ての情報や相談の場を提供し、子どもと子育て家庭を支援する環境作りに努めている。 地域交流推進事業においては、地域の多世代が交流できる児童館の特性を活かした多様なプログラムを提供している。近隣児童館・市民センター等と連携した取組みを通して、子ども達が地域と関わりながら育つ環境作りに努めている。 放課後児童健全育成事業においては、こどもの思いを受け止め、こどもが主体的に生活できるように、子どもと一緒に遊びや生活の流れを考えて組み立て、改善・工夫しながら生活づくりを行っている。また、こどもの様子等を保護者へ適切に伝え、家庭と連携し、一人ひとりのこどもの特性に応じた支援が行われるように努めている。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課